

令和7年度 第2回学校運営協議会 議事録

日時: 令和7年12月19日(金) 15時30分～16時10分

場所: 県立百合丘高等学校 会議室

出席者

委員: 蛭原委員、石原委員、中西委員、米山委員、梶原委員、山田委員、加藤木委員(校長)

事務局: 政木副校長、熊谷教頭、礪波事務長、小林総括教諭、西総括教諭、井口教諭、

菊地総括教諭、白井教諭(3学年リーダー)、

本間教諭(2学年リーダー)、河本教諭(1学年リーダー)

1 校長あいさつ

お寒い中、お忙しい中ご出席いただき感謝申し上げます。

50周年式典を同窓会主導のもと実施した。12月は師走の名の通り、忙しく過ごしている。新年は入選等もあるので準備を心がけたい。

本日は中間報告を各GLから行い、委員の皆様から意見をいただき、そのご意見反映させていきたい。

2 部会長あいさつ(蛭原 委員)

10月24日の式典の実施にあたり、ご協力ありがとうございました。

1部は、OB・OGの方に在校生に対して「未来についてどう考えるか」という部分を軸にして話していただいた。生徒のみなさんの今後に役立てていただきたい。

2部はOB・OG向けの会を実施した。チア部OGがあれだけの演目をやっていただけたらと思っておらず、多くの方に衝撃を与えることができた。横のつながりや縦のつながりができ、楽天球団社長の森井さんのところに旅行に行こうという話になった。

今回の会を実施するにあたり、多くの世代を巻き込んで行った。また、60周年を実施してもより良いものになると思う。ご協力ありがとうございました。

3 情報・意見交換

(1) 令和7年度 学校評価報告書 校内評価(中間報告)について

事務局より説明

○学習GL(西 総括教諭)より

(別紙1①の項目について)

各教科担当が指導に十分当たっている。他教科との協働までは進んでいない。

(別紙1②の項目について)

ICT活用については課題が残っている。探究的な授業について実施が進んでいる。1人1台端末を購入しているが、端末を持ってない、持ってきても充電が切れている、という状況について課題を感じている。

○管理運営GL(西 総括教諭)より

(別紙5②の項目について)

学校管理安全面に取り組んでいる。防災訓練は実施できている。地域との連携もできたが、天候が悪くグラウンドでの実施ができていない。心肺蘇生法は継続して取り組んでいる。

50周年にあたり同窓会やPTAから贈呈していただいた記念品については学校運営に活かしていきたい。

やまゆりの鑑賞会を7月に行うことができた。育て方講習会に参加した。生徒を巻き込んでやまゆりを育てていきたい。

○活動支援GL(小林 総括教諭)より

(別紙1③の項目について)

生徒が主体的に参加する。という点を目標に取り組んできた。生徒会が行事についてのアンケートを実施した。多くの生徒が積極的に関われる行事とはなにか、体育祭・文化祭をどのように変えていくか検討していきたい。

○渉外GL(小林 総括教諭)より

(別紙4①の項目について)

地域とのつながりと外部へのPR、学校説明会等でも生徒の姿をできるだけたくさん見せることができた。説明会も含めて生徒会が活動する場面が増えた。生徒のできることと、地域の求められることをつなげることができていない。強みを活かして地域の声に答えていきたい。

○生活支援GL(菊地 総括教諭)より

(別紙2①の項目について)

生徒支援について、教育相談COを中心に週1回話し合いを行っている。保護者への対応で難しい場面がある。その点を検討していきたい。

(別紙2②の項目について)

サポートドックを2回実施した。欠席しがちな生徒に対して早めのアプローチができるようにしたい。

(別紙2③の項目について)

HRや学年集会で規範意識を養うように指導を行っている。なかなか数は減らないものの、未然指導を行っていききたい。

○進路指導G（城戸総括教諭欠席のため 代理、井口教諭）より

（別紙3①の項目について）

業者を活用しながら、指導を行っている。生徒の小論文の指導等にも莫大な時間がかかる。筋道を立てて支援を行った。

（別紙3②-1の項目について）

大学や専門学校の先生と話す機会が多く、神奈川大学が冬に小論文も課すという情報も受けた。その状況を学年のチャットで共有し、情報共有を密に行った。今年度どのような感触だったかを吸い上げていきたい。

（別紙3②-2の項目について）

模擬試験の難易度について議論を進めている。振り返りのやりやすさや、受けて終わりではない形で指導を行うなど、教員が指導を行っている。

（別紙3③の項目について）

総合的な探究の時間について、2年間の集大成として発表を実施している。探究は何サイクルも回す中でその流れを落とし込んで発表まで進めた。

○副校長 政木より

（別紙5①の項目について）

県から降りてくる不祥事防止研修資料を参考にしながら月に1度研修を実施している。ワークショップを含めた研修を今後実施していきたい。

（別紙5③の項目について）

一定の職員は長時間働いている様子もある。働きがいを感じている部分もあることも含めて、アンケートを取るという話で進めている。それを使って本校の職場の課題点を洗い出し、よりよい働き方について考えていきたい。

委員からの質疑、ご意見

○視点1について

石原委員・・・学習、ICTの推進において中学校では充電をする場所が教室に設置されているため、端末を出すことができる。百合丘ではどうか。

→端末を出してと言ってもスマホを出してしまう。一台端末を活用する方向で考えていきたい。ロイロノートは川崎市では活用はあるか。

(中西 委員)川崎市はロイロノートではなく、ミライシードというものを使っている。

梶原委員・・・生成AIに使うことが大事な時代に来たと思っている。学習の部分に生成AIの活用を進めていってはどうか。生徒総会で決めたことを教員がNOだと言った例もある。生徒と教員の乖離があると難しい状況が生まれてしまう。生成AIの活用で生徒の主体性を養っていくことも可能ではないか。

○視点2について

中西 委員・・・サポートドックというのはどういうものなのか。

→県が指定した15項目の質問がある。県に指定した期間中に2回実施する。項目を見て担任が、チェックして面談等を実施する。

梶原 委員・・・神奈川サポートドックについて件数を出して見える化しても良いのかなと思う。量よりも質なのかかわからないが、表に出すことはできるか。

→表に出すことはデータなので実施は可能である。

○視点3について

石原 委員・・・50周年式典では、OBの話が高校生にとってこれからの自分を考える良い視点だった。高校生の進路指導は中学とは違い、人生に直結する部分がある。具体的に何年生のときにこういう指導をしているみたいなものはあるか。

→各学年で違いがあることもあるが、探究の時間に仕事調べを行った学年もある。その中で保護者へのアンケートやインタビューを行い、魅力を聞いて新聞にまとめた。それぞれ違いがあり、百合丘の正解を模索している部分ではある。1学年はリクルートと協力をしながら実施をしている。ピッタリ合うところを探す作業を行ってきたい。

蛭原 部会長・・・50周年式典では、現役生徒でネガティブな質問で、遅刻ばかりしていてどうすればよいかという話をしてくれた。答えたOBは、彼自身経験していることを含めて話してくれた。OB・OGが現役生と話すことで目の色が変わる可能性があるのではないか。同窓会主催の講演会を毎年開催できないか。ネガティブな生徒たちに対してのきっかけを与える要素があるのではないか。そういう形の進路指導も考えていただけると良いのでは。機会を作れるのであれば協力させていただきたい。

→PTAでも小さい規模でも良いからできると良いと話がでている。質問した生徒は状況が改善している。英語の授業でもよく発言している。

○視点4について

米山会長・・・にこにこハーモニーが明日開催される。6校が参加するイベント。年始の祭礼に配るお酒のラベルは百合丘高校生が書いたもの。ご協力いただき感謝している。また、自転車は罰則が始まる。二人乗りをしている様子を見かけるので指導について考えてほしい。

→宮前区ではイエローカードをもらい、厳しい指導を警察から受けた生徒もいる。地域ではまだまだ実施できていない。警察とも協力してやっていきたい。

蛭原 部会長・・・やまゆりの育て方は参考になりましたか？

→とても参考になった。消毒や植え替えなどの資料をいただいた。今まではPTAがやっていたが、次年度以降は環境美化委員会の生徒も一緒にやることを検討している。

→同窓会も参加したほうが良ければ検討していく。

○視点5について

加藤木 校長・・・職員の不祥事防止には、職員間の風通しの良さが必要。明るい職員室である。不祥事的なものは起きていない。環境を維持していきたい。働き方改革については、指針を出して取り組んでいるが、長時間勤務をどうするかにフォーカスを当てているが、そこではなく、モチベーション高く働くためにはどうするべきかを検討する必要があるのではないか。教員の働き方3分類についての指針が出たが、そこについて県が検討しているものも含めて一緒に検討していきたい。自転車に乗っている生徒で何かあればご注意いただければと思う。

中西 委員・・・中学校側でも不祥事防止に取り組んでいる。研修を重ねているものの、職員間の風通しの良さが一番かなと思った。

梶原 委員・・・心して今の意見を頂いていきたい。ウェルビーイングが大事だが、時間にフォーカスが当たっている。これは教員の健康という面では大切な指針である。1つ不祥事が起きると学校として暗くなってしまうものになってしまう。学校全体でいろんなことが起こるが、大きな事態に至らないように指導をしていただければと感じている。

(2) その他

特になし。

4 第3回学校運営協議会 3月上旬を予定、案内をさせていただく。3月2日に卒業式実施予定。ご臨席賜われればと思います。